

裏路地探険

集落を横切る明治期に掘られた水路
 壮大な棚田が広がるのどかな農村の風景
 自然豊かな山あいの村を歩きました

明治の水路をたどる／新温泉町青下

扇ノ山を源流とする岸田川上流、新温泉町田中地区から山手道を上がっていくと、山あいの静かな村、青下地区が見えてくる。

その裏山の中腹には、「鳴滝」と呼ばれる落差約30メートルの滝が流れ落ち、棚田と相まって壮大な風景に圧倒される。

青下の人々は主に、米づくり・養蚕・炭焼きなどで生計を立てていたそうだ。昭和10年頃には、ここからさらに奥の霧滝地区から切り出された原木を加工する製材所があり、大きなボイラーがあったという。その後火事で焼けてしまい、今は往時の様子をうかがい知ることはできない。

「なぜこの山あいの村に、これだけの田畑があるのか」その答えは、棚田の一番上を横切る水路。村の田んぼはこの水路から各々水を引き入れ、稲が育てられている。おかげでどんなに日照りの年でも、水不足で困ったことはないそうだ。

集落に入らず驚くのが、田畑の広さ。山村とは思えないほどの見事な石垣群で構成された棚田が、あちこちに広がる。

先年の歳月をかけて、青下の10町歩に及ぶ新田開発のために造られたという。水路の上を歩くと、ほとんど勾配を感じないが、隙間



村の入り口の記念碑は、明治32年、植村四郎右衛門、世話人の他、36名で建てられたもの。



(左) 棚田の脇を流れる用水路は、水路から引き込まれた水が流れる。(右) 集落には洗濯や食器洗いなどに利用された「川」と残る。



ら下をのぞくと、確かに水が流れている。寸分のくるいもない正確な測量は見事なもので、一説には東京の玉川上水の技術が利用されているといわれている。

重機などの機械がない明治初期のこと。これだけの距離すべてを人力で掘ったというから、工事関係者の努力とその苦勞は想像を絶することであつただろう。豊かな水を利用して、集落には水車が4基もあつたという。精米機が普及する昭和30年頃まで、穀物の脱穀や精白・製粉が行われていた。

また、この水は発電所にも使われている。そのおかげで、青下には近くの村よりいち早く、大正7年に電灯が灯され、昭和30年まで無料供給された。先人たちの努力によつて建設された水路は、村に大地の恵みだけでなく、様々な恩恵をもたらしてきた。

集落の中に鎮座する白山神社は、村の氏神さま。元々、旧美方町の山奥にあつたが、冬は雪で閉ざされる山中だったために、当地区が土地を提供し、今の地に移ったとされている。

向かいには、明暦元年(1653)、京都の北野天満宮から勧請



サージタンクと発電水圧管

水路建設に関わった人々を讃える記念碑



美人湯

圧倒的な開放感
 良質の温泉をあなたへ。



*大人お一人様・1泊2食
■ 蒼の膳 2名様1室ご利用 平日 17,850円(税込)~
 *期間: 7/1~8/31(但し、8/12~15は除きます)
 湯上がりには、
 個室エステで... *アロマセラピー...30分 5,000円~
 *岩盤浴...50分(2名利用)4,200円
 *貸切温泉風呂...45分 3,150円

夢千代の里——湯村温泉
 政府登録国際観光旅館

朝堅家

http://www.asanoya.co.jp

〒689-6821 兵庫県美方郡湯村温泉 Fax 0796(92)2010
 Tel 0796(92)1000(代)

●裏路地探検隊員募集

平成19年7月14日(土)

「村岡藩陣屋跡を歩く」香美町村岡区

*実施日の10日前までに、18ページ掲載のT2編集部へ、住所・氏名・年齢・電話番号・「裏路地参加希望」とお書きの上、ハガキでお申し込みください。開催は午前中、現地集合・現地解散となります。申込締切日後、案内を参加ご希望の方へ送付致します。



左から案内役の小幡さん、小畑区長、植村さん。



集落の路地には、水路から引き込まれた水量豊かな水が流れ出ている。



水路に取り付けられているバルブ。台風時などには閉められ、水量を調節している。

水路をさらに岸田川上流へと伸びる



杉木立の中に鎮座する「青下天満宮」。かつては村の入り口にある天神山の上に祀られていた。



(下)水路の上を歩く参加者。(上)杉木立の中、約4キロの水路が続いていく。



白山神社の境内からは、仏ノ尾が望める。

され、菅原道真を祀る青下天満宮が鎮座。学問の神様として信仰を集め、かつては小学生が学業成就の祈願に訪れたという。毎年、5月の第4日曜日には祭りが開かれ、弓道大会や綱引き、傘踊りなどのイベントが行われている。

天気の良い日、杉木立の間からは、^{ほとのお}仏ノ尾の山並みを望むことができる。富士山に似た美しい山で、周辺の村からは見ることができないそう。村の人たちにとって一番お気に入りの場所なんだとか。

近代化遺産と古き良き山村の景色が残る青下の町並み。絶えることのない水の流れが、この村の歴史を雄弁に物語っている。

なつかしい未来へ

湯村製菓生まれの菓子処
遊月亭 創業二十年

私たちの理想の形「遊月村」は
社目一人一人が夢を叶える場所

日々の暮らしの中
何を残し
何を創るのか

私たちは夢を叶える人となり
地域を創る会社になりたい

千年後の未来には
私たちの生き様が
誰かに残っている

私たちには
未来すらすらなつかしい

遊月村千年物語

遊月亭 株式会社 但馬膏
〒669-6022 兵庫県美方郡新温泉町瀬田6-6
<http://www.kuromamecha.com/>
0120-037-329